

【2025年7月 月間予定表 —修学院校—】



7月の予定

1	火	休校日
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	高校入試報告会 (中1・中2対象)
6	日	
7	月	
8	火	休校日
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	休校日 ※全校舎、教室を開けております。
13	日	
14	月	『定着確認テスト』(小4～中2対象)
15	火	休校日
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	●『夏期講習』開始
20	日	●
21	月	●
22	火	休校日
23	水	●
24	木	●
25	金	●
26	土	休校日
27	日	●
28	月	●
29	火	●
30	水	休校日
31	木	●

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【5月度のMVP】

●小4 Y・S くん

●小6 Y・U さん

早めに登校して勉強する姿を評価しました！
7月から、早い時間から待ってます！

●中3 M・Y くん

●中3 G・Y くん

修学旅行の前日も、帰ってきた日も、塾で最大限勉強していました。まさに受験生のあるべき姿、他の中3生の模範です。

7月行事について

●夏期講習・・・長い夏休みをいかに計画的に過ごすかで今後の学習成果は大きく左右されます。

【毎日の中にあるもの】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

先日、気象庁が梅雨入りを発表しました。花粉症に悩まされる日々が終わったと思いきや、今度はじめじめした湿気に悩まされる…。そして梅雨が明けたら本格的な夏日が始まり……。だれか～～～天気になんか～すにすむ国につれてって～～～(泣)

『東京タワー ～オカンとボクと、時々、オトン～』

テレビドラマ化、映画化、舞台化がなされた、人気作家リリー・フランキーさんの代表作です。

その作品の中で、オカンの本棚から日記が見つかります。その日記の間には、一枚の紙切れが挟み込まれていました。

そこには自らの親を想って書き写した、短い文章が残されていました。

こう書かれていたそうです。

<母親というのは無欲なものです わが子がどんなに偉くなるよりも

どんなにお金持ちになるよりも 毎日元気でいてくれることを

心の底から願います どんな高価な贈り物より わが子の優しいひとことで

十分すぎるほど幸せになれる 母親というものは 実に本当に無欲なものです

だから母親を泣かすのは この世で一番いけないことなのです>

(出典「東京タワー」)

私は一人っ子で、両親共働きで育ちました。

3人とも生活時間帯がバラバラだったので、家族が食卓で揃うことは少なかったです。

そんななかでも、母は手料理を欠かしませんでした。

私は、九州出身の母の濃い味付けが大好きでしたが、

育ち盛りのころは、田舎育ちの母の和食中心の生活にうんざりで、好んで外食をするようになりました。

その頃はわかりませんでしたが、いまならわかります。

母の手料理こそ究極の贅沢だったって。

毎日料理や洗濯をしてくれるってすごいことです。

だって毎日ですよ。しんどい時や気が向かない時だってあるはずですよ。

でも、母は当たり前のようにそれをしてくれた。

しかも、きれい好きの母は、いつもいつも掃除をしていました。

ごみはごみの波動を生みます。だから、母は私の身の回りはいつもきれいにしてくれていたのだと思います。その負のエネルギーが私に流れ込まないように。

365日働いてくれる母に対して、母の日は1年に1回って少なすぎると思うんです。

5月の母の日から、半年後の11月あたりで、もう1回アンコール母の日があってもいいでしょ?(^o^)

リリーさんは『東京タワー』最後のページでこう言っています。

「オカン。今までいろいろ、ごめんね。そしてありがとね。

オカンに育ててもらったこと、ボクは誇りに思うとよ」

一流のクリエイターや偉人たちの伝記に触れていつも感じるがあります。

お母さんへの感謝の気持ちを書かれている方がとても多いのです。

「毎日」って、漢字の中には「母」がこっそり隠れている。

1日1日過ぎていく毎日。その「毎日」の中に、「母」がいる。

毎日の中に、母ちゃんがいる。

母ちゃん。

ずーっと昔から

毎日毎日どんなときも

あたたく見守っていてくれて……

母ちゃん。

ほんとうにありがとうな。

塾長 山田 大介